

株式会社アーレスティ

2005年3月期決算説明会

2005年5月19日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- ・ 2005年3月期決算概況
- ・ 中期経営計画(2005-2007年度)

. 2005年3月期決算概況

2005年3月期ビジネスハイライト

- 金型グループ4社連結子会社化
- 2004年9月 広州阿雷斯提汽車配件有限公司
操業開始
- 2004年10月発売のホンダ レジェンドに日本初
アルミダイカスト製ハイブリッドサブフレームとNI
法のリアロアアームBが採用される
- 2005年3月 阿雷斯提精密模具(広州)有限公
司設立

連結決算概要

- ・売上高96,043百万円(過去最高額、前年同期比25.3%増)
- ・営業利益5,597百万円(過去最高益、前年同期比48.0%増)
- ・經常利益4,803百万円(過去最高益、前年同期比54.3%増)
- ・当期純利益2,265百万円(前年同期比22.5%増)

単位：百万円

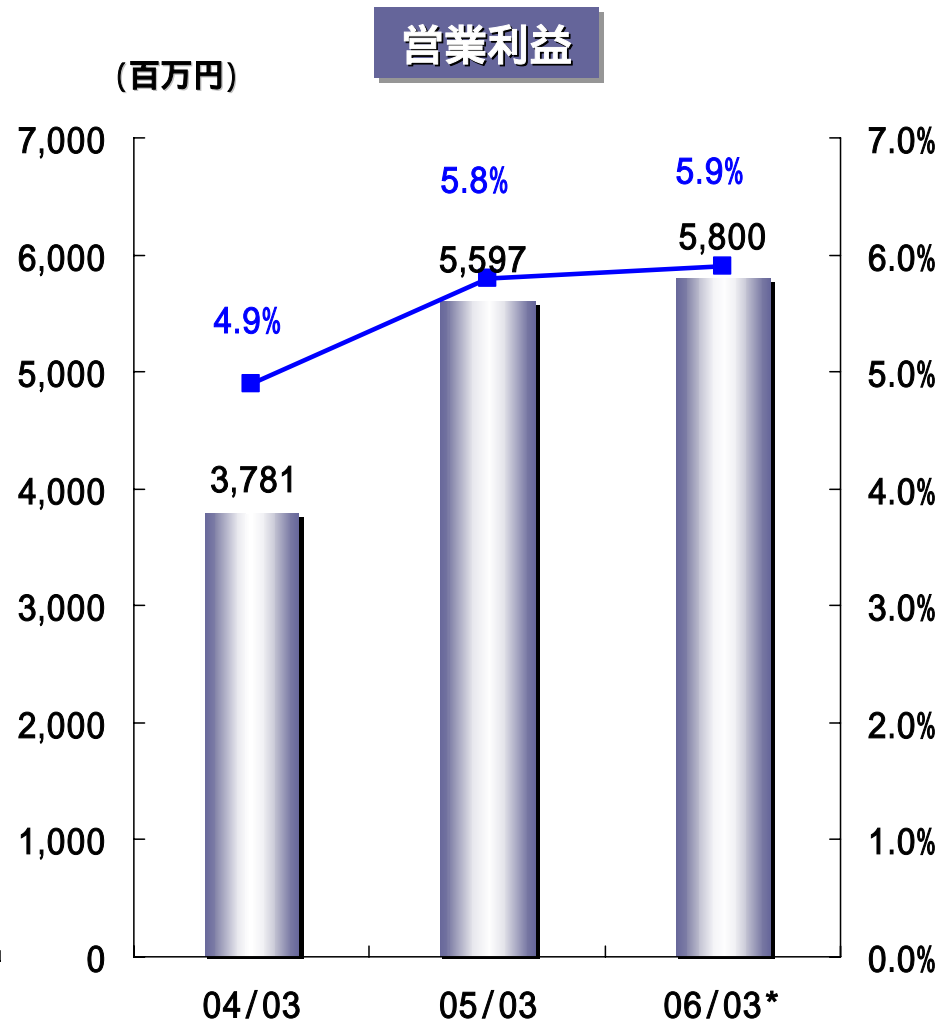
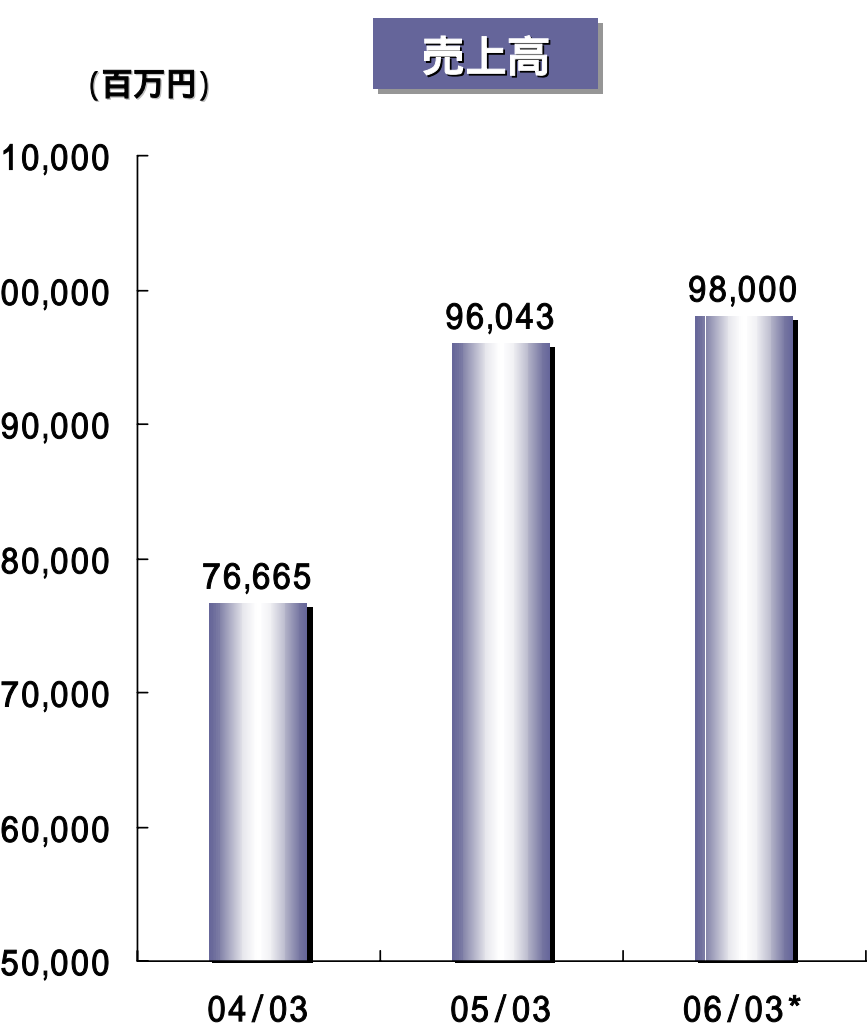
	2004年3月期	2005年3月期	増加率(%)
売上高	76,665	96,043	25.3%
営業利益	3,781	5,597	48.0%
經常利益	3,112	4,803	54.3%
当期純利益	1,849	2,265	22.5%
ROE	10.9%	11.3%	0.4ポイント
ROA	3.2%	3.5%	0.3ポイント

2006年3月期業績予想

単位：百万円

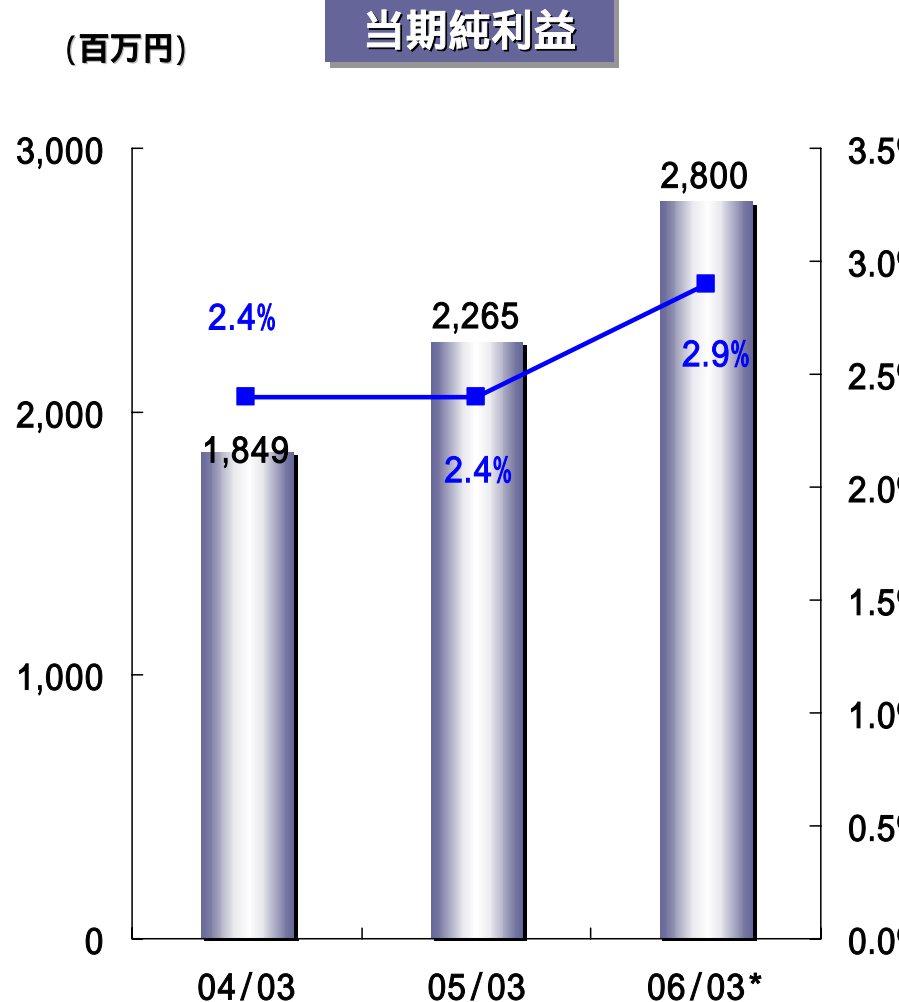
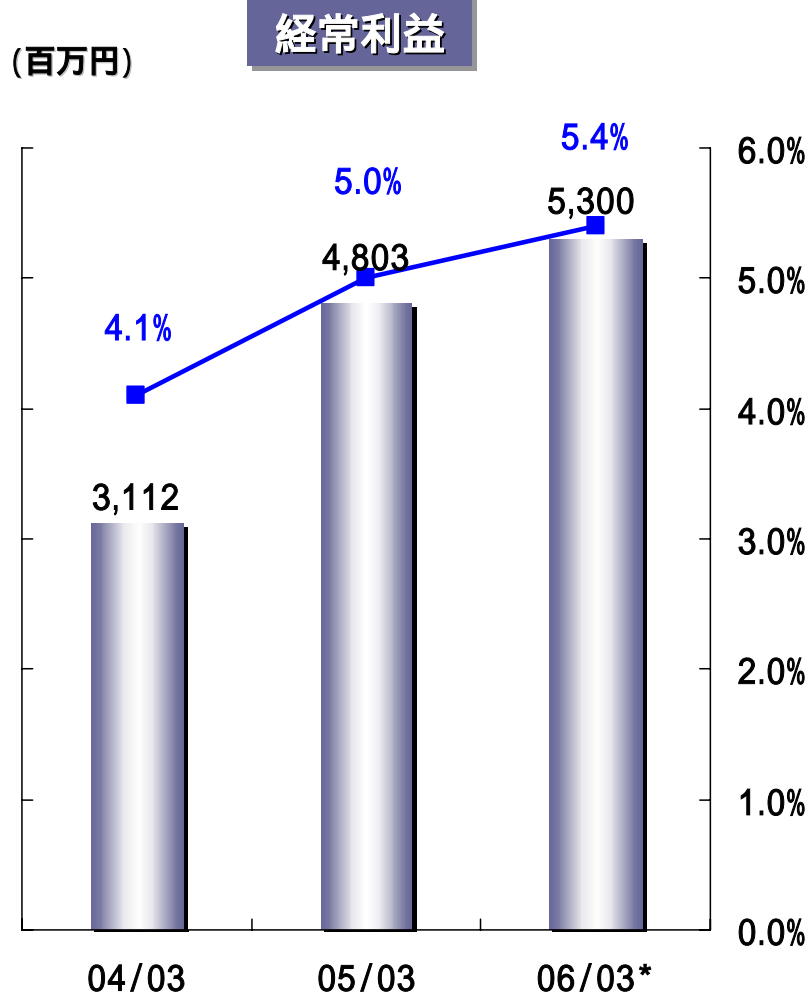
	2005年3月期	2006年3月期	増加率(%)
売上高	96,043	98,000	2.0%
営業利益	5,597	5,800	3.6%
経常利益	4,803	5,300	10.3%
当期純利益	2,265	2,800	23.6%

業績推移 - 連結売上高・連結営業利益



* 予想

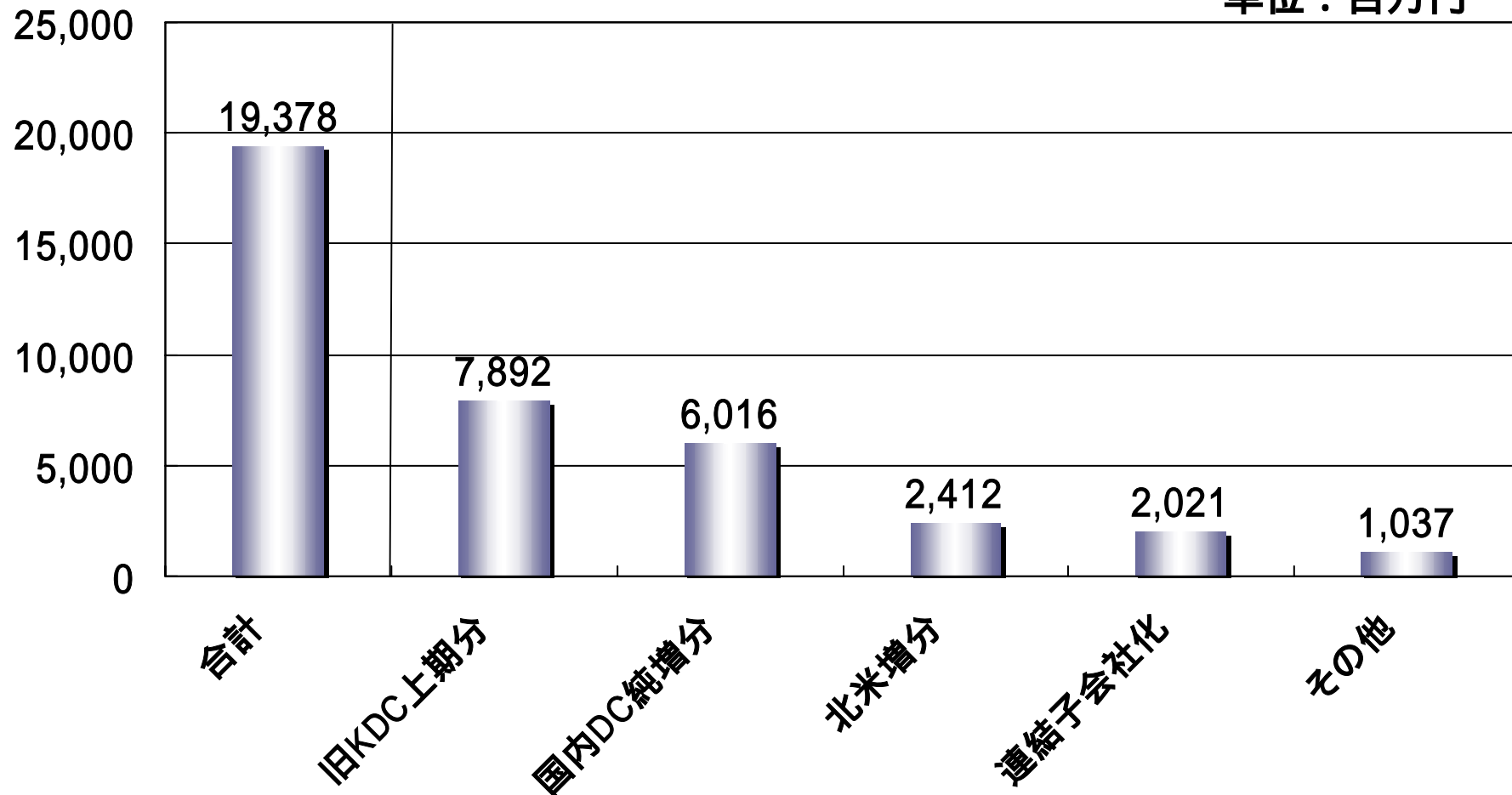
業績推移 - 連結經常利益・当期純利益



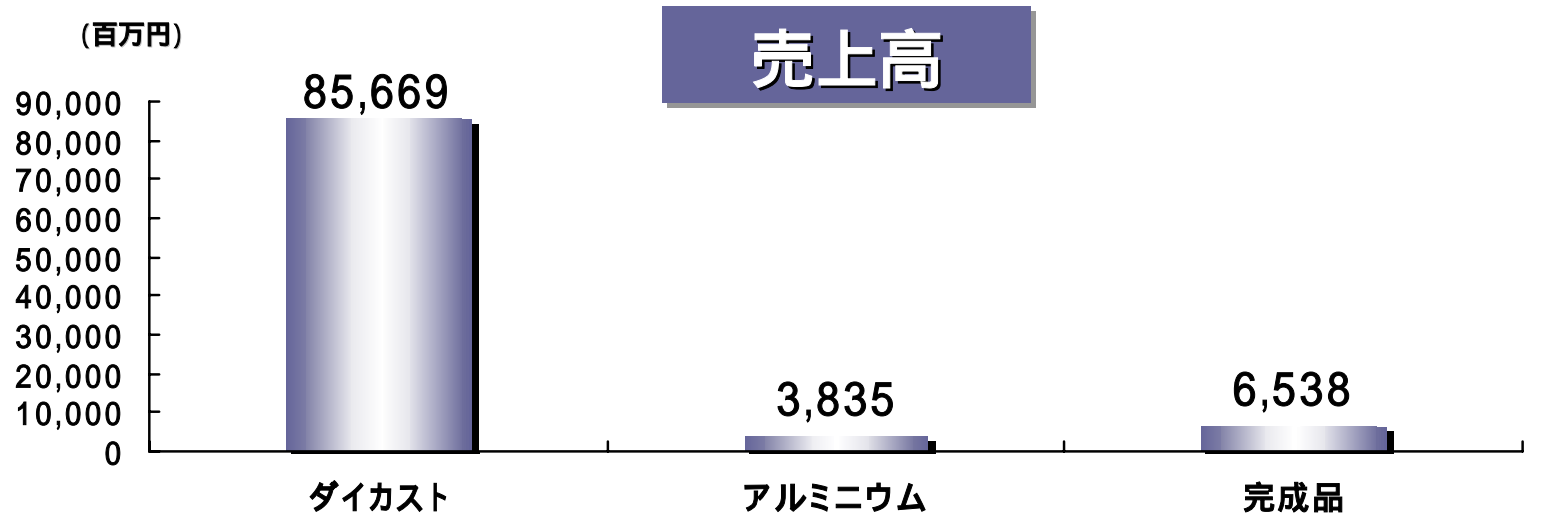
* 予想

売上高要因分析 (前年比)

単位：百万円



事業別 - 連結売上高・営業利益



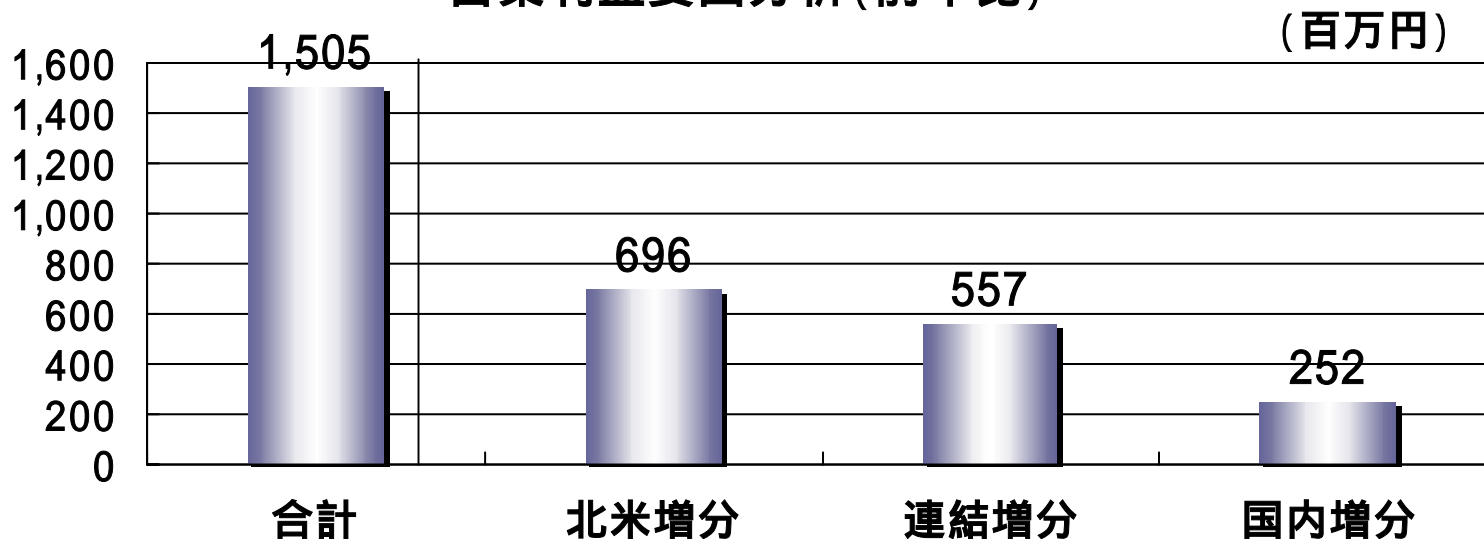
* 消去又は全社 2,208百万円円を除く

ダイカスト部門の状況

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	対前年増減
売上高	68,166	85,669	25.7%
営業利益	5,703	7,208	26.4%

営業利益要因分析(前年比)



豊橋工場(旧京都ダイカスト)の業績再建

■ 下期重点実施事項

- 稼働率向上活動
- 不良削減活動

■ 成果

- 大型製品の生産性改善・・・上期比17%改善
- 金型故障率改善・・・上期比1.8ポイント改善
- 機械故障率改善・・・上期比3.3ポイント改善
- 売上利益改善
・・・上期 37百万円 → 下期 257百万円

アルミニウム部門の状況

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	対前年増減
売上高	3,397	3,835	12.9%
営業利益	199	236	18.6%

営業利益要因分析(前年比)

営業利益 37百万円増加

生産重量 12.3%増(3,242t)

1. 生産の増量効果による増加
2. 生産性向上による

完成品部門の状況

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	対前年増減
売上高	5,101	6,538	28.2%
営業利益	58	361	422.4%

営業利益要因分析(前年比)

営業利益 303百万円増加

・利益率重視の販売戦略により利益率大幅アップ

売上高の大幅増要因は、

1. 旧KDC上期分 835百万円

2. 半導体関連工場向け受注が36%増

・ 中期経営計画(2005-2007年度)

新10年ビジョン

「すべてのステークホルダーから信頼される
企業」をめざす

- 顧客ニーズの先を行く企業
- 投資価値のある企業
- 生きいきと活動し誇りを持てる企業
- 相互に信頼される企業
- 社会と共に歩む企業

中期経営計画(2005 - 2007年度)

1. 世界に誇れる品質
2. グローバル価格競争力の強化
3. 製品開発・技術開発
4. 継続した企業価値の増大
5. 強靱な財務体質の構築

目標値

- 連結売上高 1100億円
- 総資産純利益率 (ROA) 5%
- 売上高経常利益率 6%
- 自己資本比率 40%

1. 世界に誇れる品質

- **納入品全数保証をめざす**
 - **工程保証を充実させて顧客の信頼を得る**
(全方位のプロセスアプローチで顧客の品質満足度を得る)

2. グローバル価格競争力の強化

- **革新的生産効率の追求**
 - 各部門における生産効率追求による原価低減
 - 全工程での全体最適の追求

3. 製品開発・技術開発

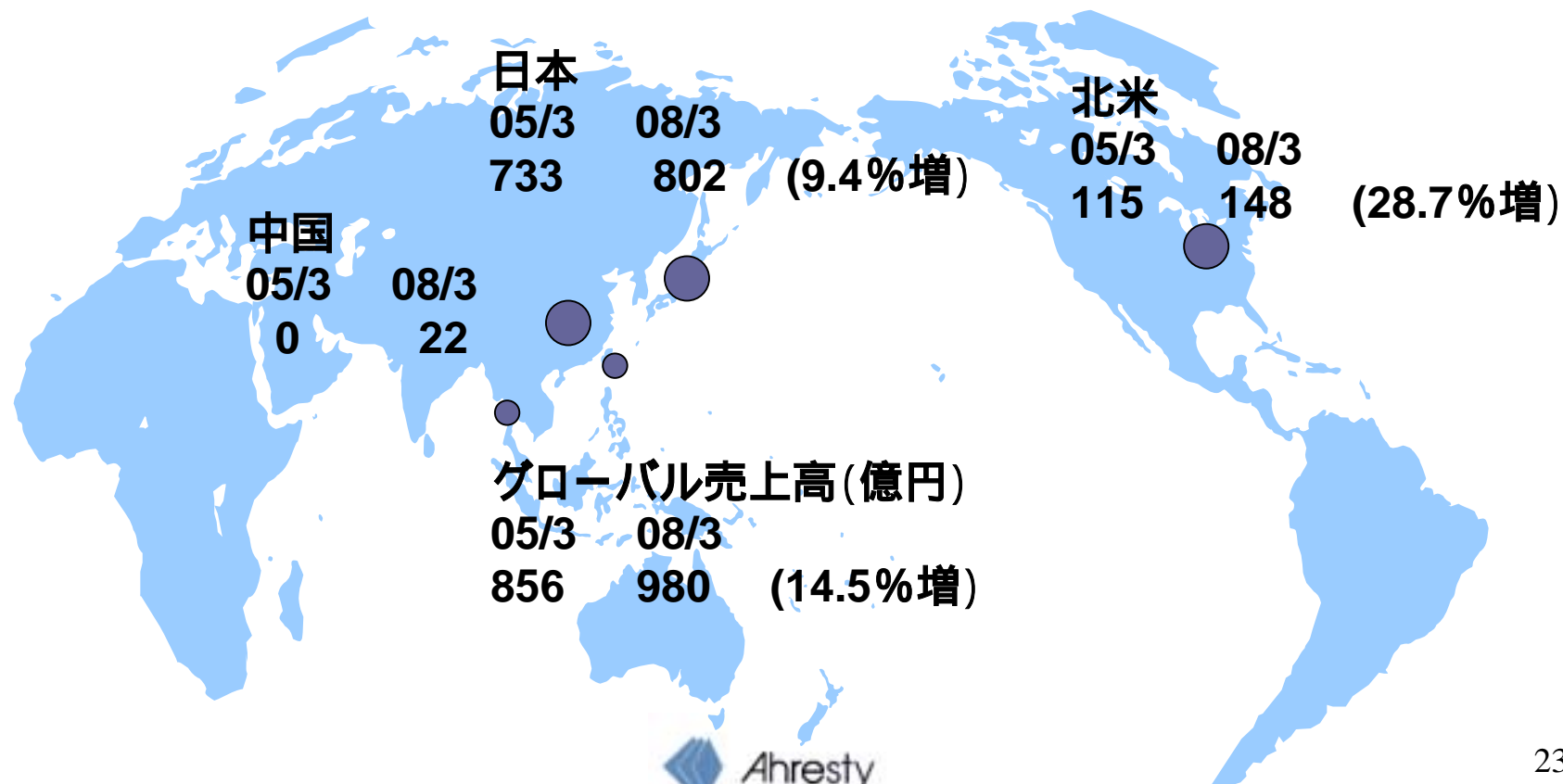
- 市場分析に基づく提案型製品開発
- 新しい需要創出につながる技術開発

4. 継続した企業価値の増大

- **ダイカスト事業のグローバル展開**
- **金型事業のグローバル展開**

ダイカスト事業のグローバル展開

国内自動車メーカーのグローバル展開に伴い
海外生産を拡大



設備投資・減価償却費の推移

単位：百万円

	2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期(予)
営業活動によるC.F.	3,769	6,484	8,168	8,679	9,948
設備投資額 (金型を除く)	2,525	3,375	5,656	6,253	9,905
(減価償却費)	3,438	3,678	4,501	5,295	6,300

5. 強靱な財務体質の構築

- 有利子負債の削減
- 資産の圧縮
- 自己資本の充実

株主還元政策について

- 2005年3月末配当は前回期末配当予想に比べて6円増配し、14円を予定しております。
- 今後の配当方針として、安定的な配当をベースに、中長期的な事業発展のための財務体質と経営基盤の強化を図ることを勘案したうえで、連結業績の動向も十分考慮した配当を行ってまいります。
- 2006年3月末配当は16円を予定しております。

株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して

2005年5月19日